

第2回 滑走路端安全区域(RESA)対策の選定に関する技術検討会

議事要旨

○「アレスティングシステムの導入」について

- ・ アレスティングシステムは、アンダーシュートに対応しないが、RESA 対策として認められるものであることを、明確に記載すべきではないか。

○ 検討手順について

- ・ 検討手順について、空港によっては、必要とされる機能を検討した結果、「滑走路長の変更」を選択するといった場合も考えられる。従って、設置位置や運航状況等に応じ、柔軟な対応を可能とできる記載にすべきではないか。
- ・ RESA 対策の検討は、柔軟に前のステップに戻れるような、ループのある検討フローにすべきではないか。

○「将来的な課題への対応」について

- ・ 今後の技術開発等について触れている部分について、航空機の機材性能の向上といった、他分野における技術的な改善や小型航空機の事故に係る対策等についても、考慮していくべき。
- ・ リスクアセスメントとして、空港のユーザーである航空会社の意見を優先的に考慮すべき。

○ その他

- ・ 指針を使用する対象者へ向けた「まえがき」を付すべきではないか。